

学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善のポイント (小学校音楽)

福島県教育委員会では「学校教育指導の重点」という冊子を作成し、各教科等の「学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善のポイント」について解説しています。その中の小学校音楽科の内容を紹介しますので参考にしてください。

ポイント1

児童の実態と教材の価値を踏まえた指導計画の作成

- 「共通事項」を要として複数の指導内容や教材を関連づけるなど、題材構成を工夫しましょう。その際、取り扱う「共通事項」の具体的な内容を明確にしましょう。

〈例〉音色 打楽器の音色
雷鳴と稲妻を表す大太鼓とシバルの音色
反復 ABAの反復

- 児童の音楽に対する興味・関心・音楽的諸能力等を考慮した上で、ねらいとしている音楽的な内容がわかりやすい形で表れている教材を選択しましょう。



ポイント2

「感じる」ことをベースとした「わかる・できる授業」の展開



〈学習の全体〉

- 学習課題に関心をもち、自ら取り組むように工夫しましょう。
(主体的に学習に取り組む態度の育成)

〈表現領域(器楽分野)〉の例

- 曲想にふさわしい演奏するために、どのように表したらよいか考え、試す。
(思考力の育成)
- 必要な指遣いや呼吸、タンギングなどを身に付ける。
(技能の習得)
- このような思いで表したいからこのように演奏するとよい、と自分の考えをもつ。
(判断力の育成)
- 工夫して演奏したことを音楽の用語を用いて友達に伝える。
(言語等による表現力の育成)

〈鑑賞領域の例〉

- 楽曲の中の対照的な部分を聴き比べ、その相違点を考える。
(思考力の育成)
- 気に入ったところ、楽曲のよさについてなど、自分の考えをもつ。
(判断力の育成)
- 楽曲の面白さの理由を音楽の中から見つけて紹介文にまとめる。
(言語等による表現力の育成)
- 感じ取った楽曲の特徴を〔共通事項〕と関連づけて聴き深める。
(知識の習得)



ポイント3

「音楽活動の質的な高まりが見られる言語活動」の授業への位置付け



- 表現活動において、楽曲に対する思いや意図を相互に伝え合う活動を位置付けて、仲間とともに創意工夫して表現する喜びを味わうような活動を取り入れましょう。
- 鑑賞活動において、音楽を形づくっている要素の働きが生み出す音楽のよさや面白さ、美しさを感じ取り、言葉で説明するような活動を取り入れましょう。

ポイント4

評価の工夫改善

- 「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料」(国立教育政策研究所)を活用し、題材の目標、評価規準及び指導計画を作成し、指導と評価の質を高めていきましょう。
- 記録に残す評価の場面を精選(1授業につき1~2回)し、様々な方法を組み合わせて評価しましょう。特にワークシートは、指導内容に即して「何を書かせるか」問いを精査しましょう。



次回は中学校の授業改善
のポイントを紹介します。

5月22日(水)頃アップ
の予定です。

